

「面倒だからする」

校長 村上俊二

ベストセラーになった「置かれた場所で咲きなさい」の著者渡辺和子先生の言葉です。

日常生活において、「面倒だからする」ということを大事にしたい。例えば、玄関で履き物を脱いで揃えるか揃えないか。確かに揃えることのほうが面倒です。だからこそするのです。面倒だと思った時に、一呼吸置いて「どちらがよいか」を選ぶ。これが「より善く生きる力」につながります。

大人が子ども前で示す言動も、この「面倒だからする」姿が大切です。朝、眠くても忙しくても、しっかりと子どもに朝ご飯を食べさせ、「行っていっちゃい」と送り出す。子どもは見送ってもらうことで安心して旅立てます。安心感が得られると、エネルギーが充満して一歩前へと踏み出すことができ自分らしさが発揮できるのです。

子どもたちが次の環境、新しい境遇の中でしっかりと生きていけるように、「将来」の幸せにつながる「価値観」を、「今」大人自身が誠実に努力して生きる姿を通して伝えたいと思います。